

## 所外研修⑫ 沖縄県立総合教育センター「後期・離島長期研修 研修成果報告会」

所外研修の第12回目として、3月3日(木)に沖縄県立総合教育センターで開催された「前期・離島長期研修 研修成果報告会」に参加しました。

6ヶ月間、テーマに添った研究を行い、自分の取り組んできた研究に自信を持ち、堂々と発表する研究員の姿と、理論に基づく手立てを明確にし、量的にも質的にも検証を行い、簡潔・明確に見る人を引きつけるプレゼンテーションから、多くのことを学んだ、後期教育研究員でした。

来る3月25日の「報告会」で、その学びの成果を披露してくれると期待しています。

## 教育研究員の感想 (研修日誌から)

報告会の会場は、私達の福祉センターと違って小さな講義室だったので参観者との距離がとて近いなと思い、発表者の方はとても緊張するだろうと感じました。センターでの報告の仕方は、成果からの報告ではなく、テーマからの報告でした。違いはありましたが、皆さん15分以内にきちんと発表していました。プレゼンのスタイルもそれぞれ個性が出ていて参考にできる部分は取り入れていきたいと思いました。

私はつい発表原稿を覚えようとしてしまいます。止まらず報告するためにも、キーワードをしっかり捉えて自分の言葉で出来たらいいです。しっかり前をみて報告するのは、今まで取り組んできたことに自信をもって、協力して下さった周囲の方々への感謝の気持ちを表しているのではないかなと今日の発表者を見て感じました。このいい緊張感を忘れず、私達も報告会に向けて頑張っていきたいです。(国吉亜矢)



写真1 県立総合教育センターにて

3月25日の報告会をイメージしながら、プレゼンに聴き入って(見入って)いました。小学校の国語の発表と算数の発表を参観しましたが、プレゼンテーションの仕方がとても上手で、圧倒されました。まず、発表時の声が大変聞きやすく耳に心地よく入ってきました。次に、堂々と発表していて聴く人の心を引きつけました。それから、プレゼンの内容が大変分かりやすく、研究の内容がよく伝わりました。それにしても、プレゼンのシートが上手だったのには、驚かされました。「正確さ、明確さ、効率性」「印象深さ」「見る側の負担が最小限」の条件を満たしていたと思います。特に、発表がすばらしいと感じたのは、最初にプレゼンをした平良早美教諭(国語)です。「読ませる」ではなく、「見せる」プレゼンができていましたし、説明の内容もとてもよかったです。今日の報告会は、とても参考になりました。私にもできるか不安でいっぱいですが、指導主事の先生方や研究員のみんなとがんばって、本番のプレゼンが成功するようがんばりたいです。(比嘉頼子)

初めて教育センターの報告会を見に行きました。スライドの順番や説明の仕方、図や表の見せ方など、自分の報告プレゼンテーション作成にとても勉強になりました。全員の報告書も貰いました。書式は研究所と少し違っていました。「、」ではなく「、」を使っていたことやプレゼンでは成果からではなく、報告書の順番通りにやっていたことは違いますが、いいなと思ったのは研究の成果の見せ方です。文章ではなく、まとめた言葉でアニメーションを活用しながらの説明だったので〇〇から〇〇になったとわかりやすかったです。そこは、真似したいと思いました。昨日、プレゼンテーションのヒアリング資料を佐久本主事に提出したのですが、今日学んだことでだいぶ手直しが必要だと思いました。ただ、児童が活動している写真スライドがいくつか出てきましたがぼかしが入りすぎていて何が何やらわからなかったです。あと、研究の理論もたくさんの理論があってとても勉強したということがわかりました。僕も「児童の交流」についてもっと重点を置いて勉強をすればよかったかなと思いました。半年の成果をみんなにわかりやすく説明するためにまた、残りの期間学んでいきたいと思います。ただ、アニメーションについてはいまいちだったかなと思いました。(久高友弥)

今日は、発表の仕方や立ち位置、プレゼンテーションの仕方などを学ぶことができました。ちょうど、私が見たかった教科書の報告だったこともあり、中でも算数科の発表はこれまで私が研究内容として何度もくり返し学習指導要領で目にした文言がありました。トップバッターの平良教諭は、落ち着いた態度で程よい声量と表情、読む速さもちょうど良いくらいでとても分かりやすいプレゼンでした。全部暗記していたので、凄いなと思いました。

プレゼンテーションの技法は、どの発表も素晴らしく、文字の大きさやイラストの配置、図の使い方もビジュアル化されていて、見やすかったです。今日学んだことを3月25日の報告会に向けて、プレゼンの修正や発表の練習、質疑されても的確に答えることができるように、頑張りたいと思います。(富名腰由紀)

小学校国語の報告は、読書を国語授業でどう取り入れ、子ども達にいろんなジャンルの本に触れうる工夫をしていました。本時の、下級生に読み聞かせをする交流会をもっておすすめの本を紹介する取り組みは楽しそうだなと思いました。壺屋小学校の照屋由紀子先生は、算数でシンキングツールを活用した授業を紹介していました。シンキングツールは、熊本の研究センターの視察の資料の中にあつたワードで、気になって調べたものだったので、実際の活用例を紹介していたので勉強になりました。

小学校算数は問題解決的な学習ということで、私のテーマにも問題解決学習が入っているので、参考になりました。特に、導入・話し合い・振り返りを大切し、基礎的・基本的な知識・技能を活用するということがでした。振り返りでは、答えがあっているかの確かめの仕方含まれていました。解くだけでなく、確かめることでさらに思考の整理につながると感じました。(波照間生子)